

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	東洋英和女学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トウヨウエイワジョウカクインダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップB
	学部・研究科等名	国際社会学部国際社会学科
	担当教職員名・役職	小寺敦之(准教授)
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	20
	受入企業等数	1
	受入企業等名	東京国際映画祭(公益財団法人ユニジャパン)
	インターンシップの分類	5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	東京国際映画祭における海外ゲストアテンド業務
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2～3年次
要素③	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	春学期の正規科目として開講しており、同科目は該当業界の仕組みを学ぶ通常授業と夏休み以降施される実習により構成されている
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中は受入団体が指導主であり、教員は受入企業・団体と連携しながらモニタリングを行い、必要が生じた場合には適宜直接指導を行っている
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)		
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習前後の自己評価シートや日誌の義務づけにより、実習の振り返りと効果が学生にも把握できるように努めており、また受入企業・団体からの評価も学生にフィードバックしている
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	夏休み期間中の研修期間に加えて10日間の映画祭期間は原則勤務	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	40時間以上の実習時間を単位認定の条件としているが、同科目については80時間程度の実習時間となっている	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している,4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	

	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中は学生が記載する日誌を受入企業・団体に確認してもらうようにしており、インターンシップ終了後も受入企業・団体による評価シートの作成や教員との意見交換の機会を設けている
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://passport.toyoeiwa.ac.jp (ゲストユーザでログインして「インターンシップB」で検索)
問い合わせ先	大学等名	東洋英和女学院大学
	担当部署名	国際社会学部国際社会学科
	担当者役職名	准教授
	担当者氏名	小寺敦之
	電話番号	045-922-7291
	メールアドレス	kotera@toyoeiwa.ac.jp